

2018

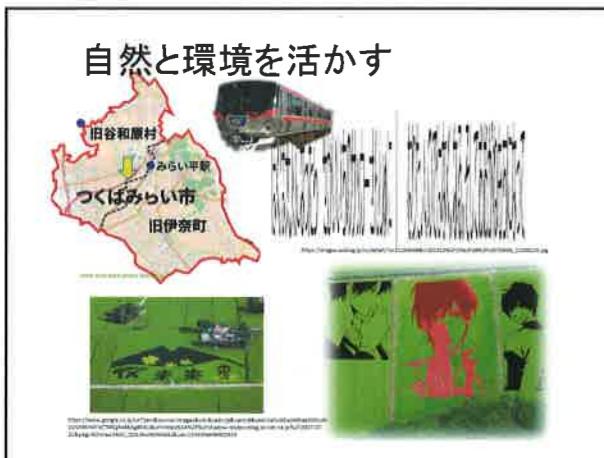
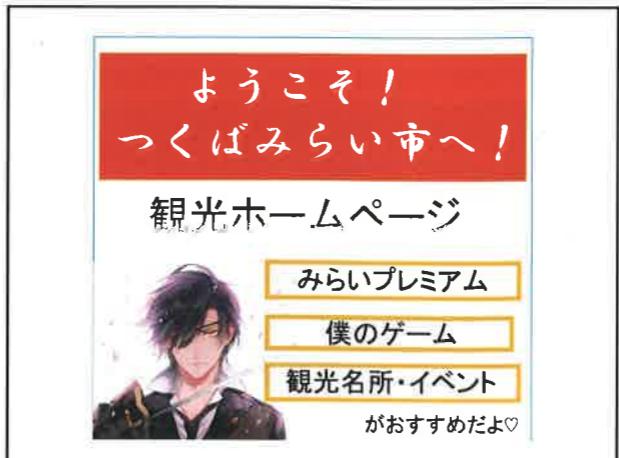
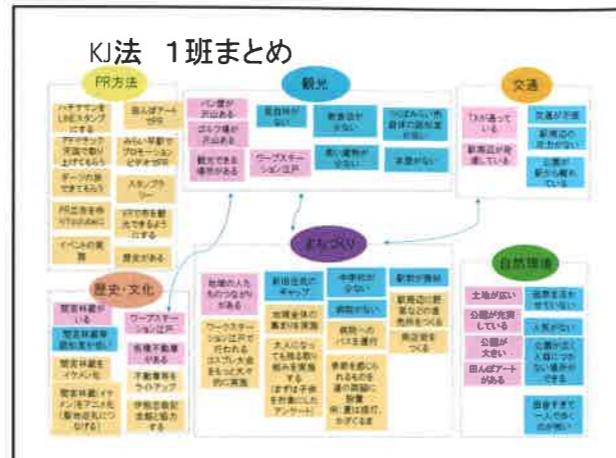
つくばみらい市・筑波大学・つくば秀英高等学校  
高大連携プロジェクト

「ワカモノ目線・ソトモノ目線からのまちづくり提案」



つくば秀英高等学校

## ■つくばみらい市発表会 1班「自然・歴史・文化による活性化プラン」



## ■ 2班「若者の心を掴むまちづくり」 -つくばみらい市のミライ-

**1. 調査・分析**

- 1班調査結果**: つくばみらい市で活動する若者たちの写真と、2018年8月2日付の「2班 テーマ『若者の心を掴むまちづくり』 タイトル: つくばみらい市のミライ」に関する情報。
- 2班調査結果**: 質問「どちらがワクワクしますか?」に対する回答。①時代を後追いする、つくばみらい市と②ミライをつくる、つくばみらい市。
- 調査結果**: ①ICU法による調査結果。若き世代の心を掴むまちづくりの要素として、田んぼアートの印象が良い、特産物があり品質が良い、公園と桜がきれい、アート性がなく面白みがないなどが挙げられる。
- 調査結果**: ②思い描くミライ。20年先のミライをつくるようなワクワクに溢れたまちづくり。

**2. 方針・目標**

- 方針**: 20年先のミライをつくるようなワクワクに溢れたまちづくり。
- 目標**: 現状課題（若い世代とお年寄りの融合、農業が儲からない）を解決するためのアイディア。

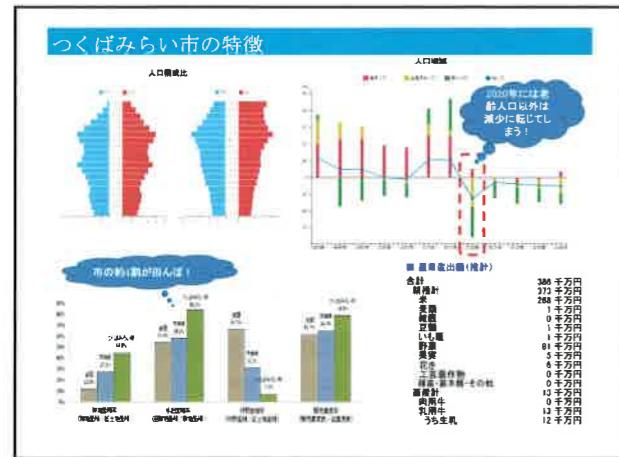
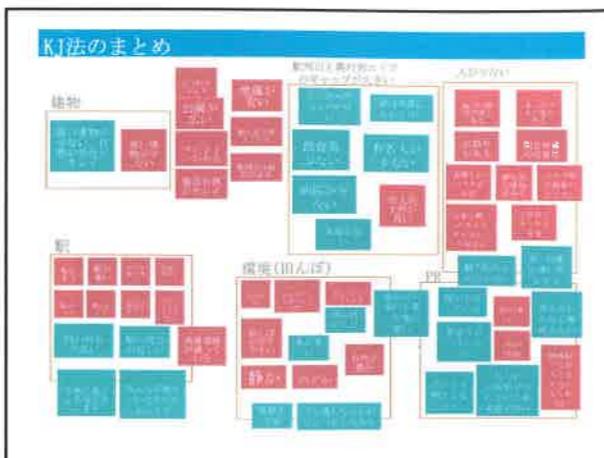
**3. アイディア**

- 1-1アイディア**: 儲かる農業とスマホの組合せ。
- 1-2アイディア**: ひとりでやるのは大変な農業を、スマホでつながる「みんなでやる農業」。
- 1-3アイディア**: 新モデルとして、おじいちゃん・おばあちゃんがつくばみらい市を通じて、小学校（市内に12校）へ情報発信。
- 2-1アイディア**: 次世代農業のバイオニアシティに、「つくばみらいの農業はすごいらしい…」。
- 2-2アイディア**: スマホだけで生活できるAPPの導入。
- 2-3アイディア**: スマホだけで生活できるAPPの導入。

**4. 実行計画**

- 実行計画**: つくばみらい市が取り組むべき具体的なプラン。
- 実行計画**: 若き世代の心を掴むための具体的なプラン。

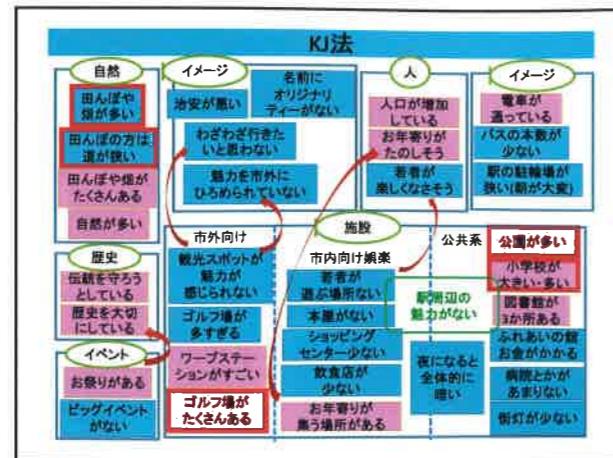
## ■ 3班「TX沿線連携まちづくり」 -つくばみらいの ストック=魅力 活用-



ご静聴ありがとうございます



## ■ 4班「安心・安全のまちづくり」 -つくばみらい防災意識半端ないって-



③近所同士で班をつくるためには

- ・役割を決める
- ・交流を深める
- ・市とも協力する



- 問題点の整理**
- ①道・橋が渋滞しそう
  - ②洪水被害の地域の道が狭い
  - ③お年寄りが逃げにくい
  - ④避難所が少ない地域がある

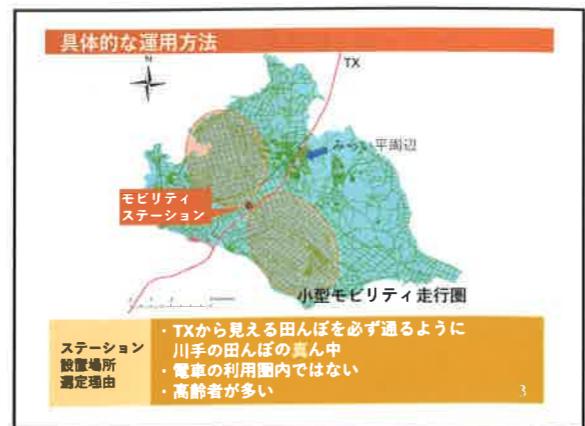
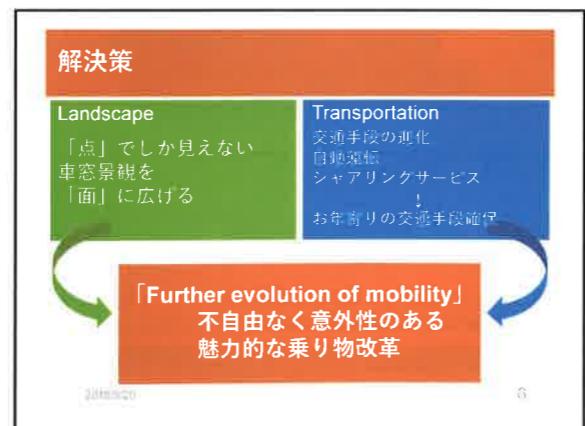
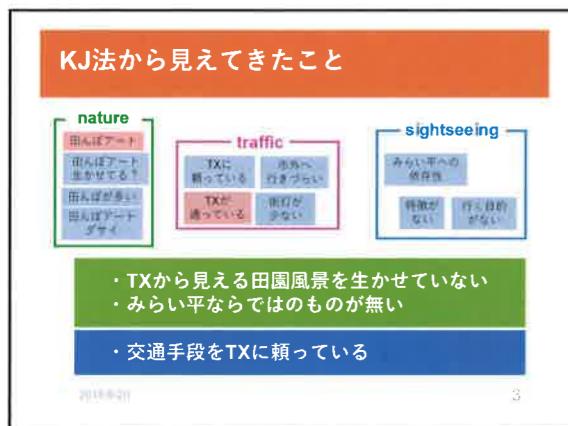
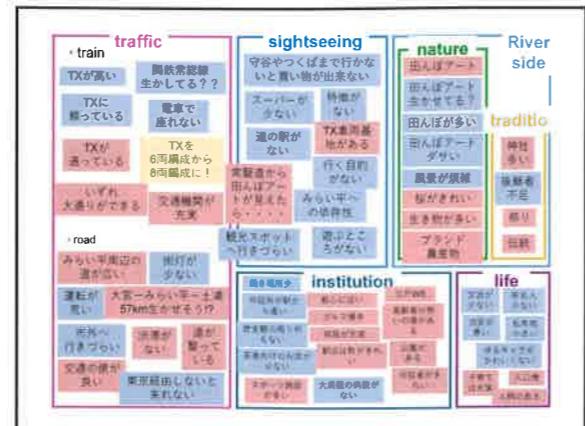
**提案**  
**SRT(災害連携チーム)**

農地に住む人→  
地域ごとに班を作り、  
災害時にリーダーがその班の人の安否を  
確認し無事に避難場所に避難できるようにする

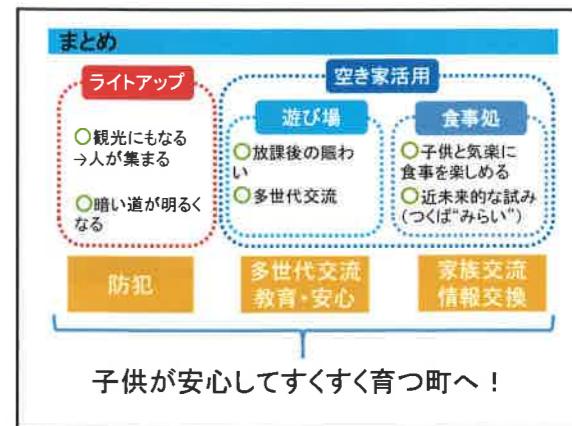
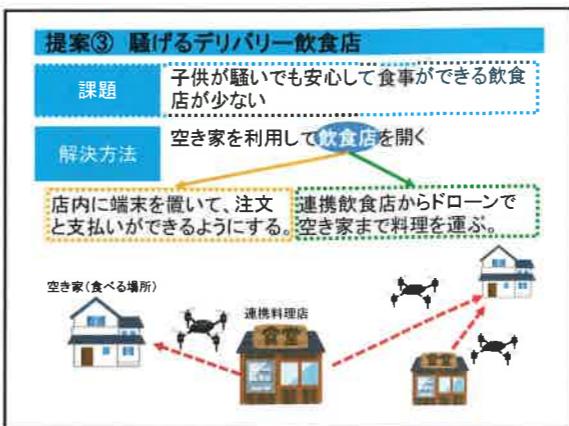
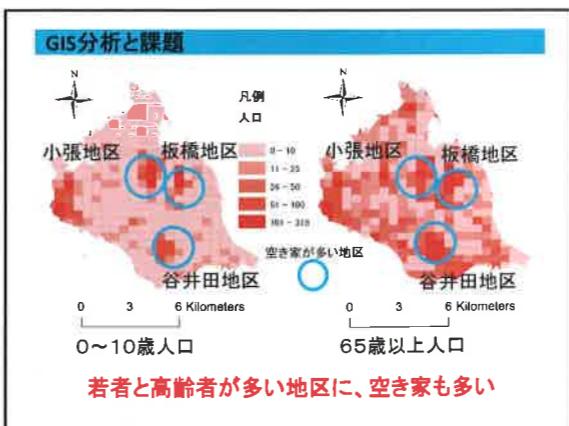
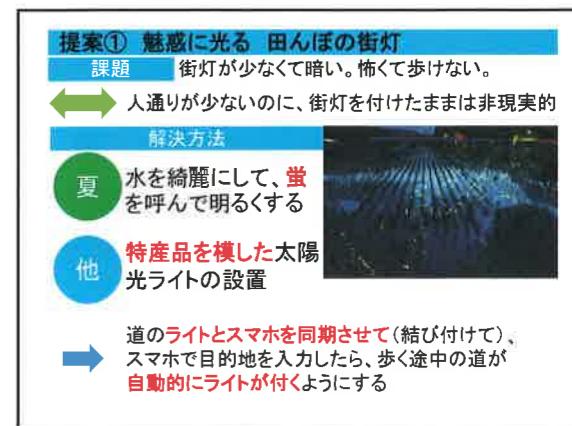
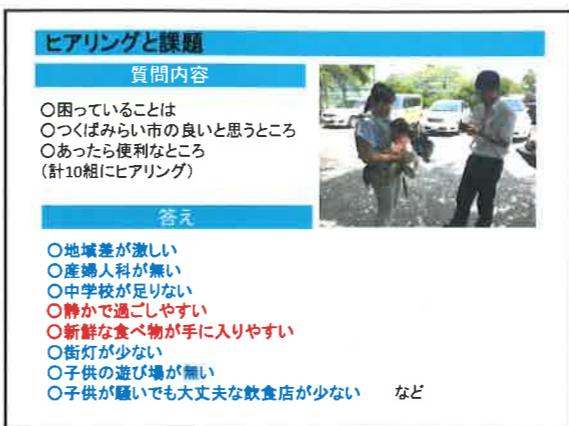
狭い地域で班を作ると、  
短い時間で行動できる！



## ■ 5班 「モビリティイノベーション」 – Green Mobility Innovation –



## ■ 6班 「子育てにやさしいまちづくり」 —まちで育てる、ミライの子育て—



#### ■ 7班 「持続可能なニュータウン」 -ギャップを埋める-

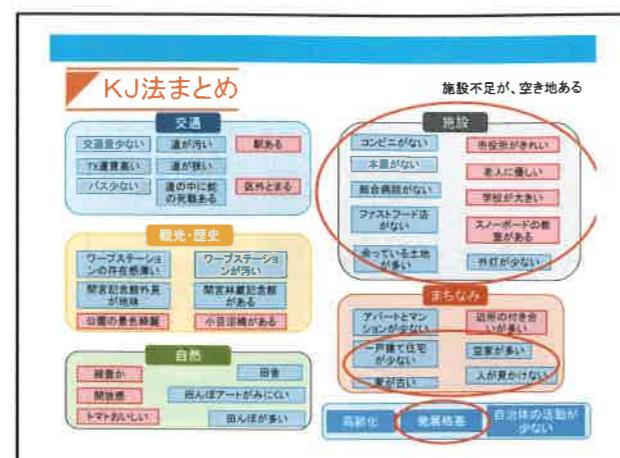
つくば秀英 \* 筑波大学 \* つくばみらい市

2018/08/02

7班 テーマ「持続可能なニュータウン」  
タイトル: ギャップを埋める

～メンバー～  
上野 陸慎  
石田 彩乃  
菊田 陸斗  
五月女 樹美  
五月女 凜華

TA 欧陽 君頤  
古矢 潤



**プラン③ 古いニュータウンの建て替え**

**公民館やコミュニティ施設のリフォーム**

- 高齢者がコミュニケーションをとれる集会場
- 地域の高齢者と子供たちのふれあいの場

若い世代も街に住み続けてくれる

**古い家のリノベーション**

- メンテナンス
- 公共スペースに改造
- 老化設備の取替

高齢者向けの性能向上

施設と路線の普及  
↓

農村の課題の解決




**プラン④ 交通システム**

最新技術の導入

「新エネルギーバスの導入」

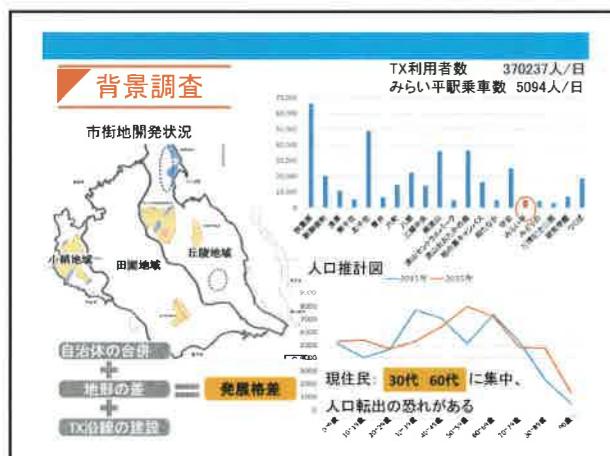
- 市民の燃料提供→ ✓ 運賃の軽減
- バス停や路線の普及→ ✓ 農村部の移動手段  
✓ 駅間直行バス  
✓ 新旧ニュータウン間の連絡
- 廃バスの利用→ ✓ 遊具にリメイク

↓

住居・エネルギー的に持続可能  
新旧住民ギャップを埋める







課題発見

みらい草

- ・スーパー以外店が閉店
- ・交番が近くにある
- ・人気がない
- ・駅までのバスがない
- ・いっぱい車が泊まっている

緑の台

- ・東京へ通勤の人が多い
- ・人よく来るけど、止まらない

- ・公園が利用されていない
- ・道が狭い
- ・家が古い
- ・老人活動場所がない

空き家が多い

The diagram illustrates the relationship between town planning elements and their outcomes:

- 駅前空き地の活用 (Utilization of vacant land near the station) leads to:
  - 空き家のリフォーム (Renovation of vacant houses)
  - 新時代交通システムの導入 (Introduction of new era transportation systems)
  - 新旧資源の有効活用による産業の再生 (Renewal of industry through effective utilization of new and old resources)
  - と世代間のギャップの解消 (Elimination of generation gap)
- 特產品のPR (Promotion of specialty products) also contributes to the outcomes listed above.

まとめ

若者を集めながら高齢者も住みやすいニュータウンを作ろう

プラン① 貸し農園 空き地の活用

駅周辺空き地写真

面積: 2.47ヘクタール

柏市の実例